

いま、子どもたちを守るために知っておきたい放射能のこと

ベラルーシの子どもたちが伝える低線量被曝の姿

10月25日(火)
仙台市青年文化センター
シアターホール

第一部 10:30~12:30 (開場10:00)
野呂さんのお話し
第二部 13:30~15:00 質疑応答

定員500名

全席自由 要予約
1,000円 (未就学児無料)

※当日資料代・会場費・諸経費として申し受けます

講演者：野呂美加さん

NPO 法人チェルノブイリへのかけはし代表

主催：かけはしお話し会みやぎ実行委員会 <http://maruta.be/kakehashimyg/>

知ることからはじめましょう

震災から半年、長期化する放射能拡散は、空気だけでなく、水、野菜や肉魚、牛乳と汚染を広げています。

こうした低線量の内部被曝が長期化したときに、子どもたちが将来どんなリスクを負う可能性があるのかについて、私たちはあまりに知らないことが多いということに気がつきました。

「安全です」という言葉だけでなく「不安」なだけでもない、事実を知り、目を背けず乗り越える知恵と情報がほしいと考えたのです。

いま、ほんとうに必要なのは「知ること」です。

知った上で、何をどう防ぎ、どう引き受けることができるのか、ひとりひとりが選びとるために今回は、ベラルーシの子どもたちを保養させる活動を19年間続けてきたNPOチェルノブイリへのかけはし代表の野呂美加さんにお聞きします。

野呂美加さんのプロフィール

NPO 法人チェルノブイリへのかけはし代表。

1992年、チェルノブイリ原発事故被災児童を、1か月間空気や水のきれいな日本で保養させる活動を知人とともに始める。これまでに招待した子どもは、19年間で648人。

2005年国際交流基金より「地球市民賞」受賞。福島第一原発事故発生以来、各地で主にお母さんたちのためのお話を開催し、チェルノブイリで起こってきた事実とともに、放射能被害への防御策と対応策などを伝えている。夫と娘との3人暮らし。

チェルノブイリへのかけはし
<http://www.kakehashi.or.jp/>



お話し会ご予約方法

STEP1

「kakehashi.myg@gmail.com」へ以下の内容でメールを送信してください。

【件名】お話し会予約

【本文】

ご予約者名：

ご来場人数：（ご本人含む）

ご連絡先：



上記QRコード
もご利用いた
できます。

STEP2

3日以内に受領メールが届きます。（先着500名）

※ケイタイメールをご利用の方は、kakehashi.myg@gmail.comのメールを受信できるようご設定ください。

STEP3

受領メールはプリントアウト、もしくはケイタイメールは保存してください。当日受付にて受領番号を確認させていただきますので、プリントアウトした場合は用紙をお持ち下さい。

詳細は <http://maruta.be/kakehashimy/>
をご覧ください。

